

ぱれっと

2007
9月

No.97

サポセンにある市民活動団体の情報は・・・
なんと6,100団体！

※詳しくはp4, 5で

■ 目次 ■

- P. 2～3 すぽっとらいと 「おはなしてんとうむし」
- P. 4 サポセン日記
- P. 5 ミニ サポダス
サポ本を読もう！
サポセン広場
- P. 6 アラカルト 仙台市内のホールを一挙公開！
- P. 7 イベント紹介
- P. 8 お知らせ など

演劇などに使える



～ サポセンの日常風景 ～

研修室前の廊下です。
静かな廊下とは対照的に
部屋の中では、団体のみなさんが
熱心に活動しています。

すぽっとらいと

◆市民活動サポートセンターを活用している団体にスポットをあて、その活動の様子や運営のノウハウをご紹介します。

小さい頃に童話や民話を話してもらったこと、みなさんも多かれ少なかれあるのではないのでしょうか。

図書館や学校などのいろいろな施設から招かれて、子どもたちに世界の昔話などの語り聞かせを通じて、本を読む楽しさを伝える活動をしている「おはなしてんとうむし」代表の山田仁子（やまだじんこ）さんにお話を伺いました。



代表の山田仁子さん（右）とメンバーの藤本梯子（ふじもとていこ）さん（左）

■本を見ないで語る

「おはなしてんとうむし」のおはなし会では、世界の昔話や創作の話を、本を見ないで語り、子どもたちに伝えています。この手法はストーリーテリングといい、語り手は物語を深く読み込みながら覚えて、生の声だけでストーリーを伝えます。

声だけで伝えるので、語り手は登場人物による違いを工夫して表現しています。例えば大男の場合はゆっくりゆっくり話したり、魔女の場合はおばあさんのように話したりします。声色（こわいろ）を使って驚かすようなこともお話によってはありますが大体は話し方で違いを表現しているのだそうです。

■好きなことが活動へ

「おはなしてんとうむし」は、もともと「手をつなぐ文庫の会」のメンバーの中の有志が集まりました。文庫で子どもが来るのを待つだけでなく、外に出向いて本の楽しさを伝えたいという思いから93年に立ち上がりました。現在は会員14名で活動しています。

代表である山田さんは小さい頃から本を読むことが大好きで、本の中の世界を想像しながら空想できる時間が楽しかったそうです。子育てをしながら仙台市生涯学習課主催の女性リーダー研修会や生涯学習ボランティアフェスティバル「えんじょいん仙台」に参加したのがきっかけとなり、市民センターや図書館とのつながりができて、共催でおはなし会を継続的に開催できるようになりました。団体を立ち上げ、どう進めていこうかと悩む前に周囲から関連する施設につながってもらったり、職員や先生がほかの職場に転勤してもその先でのつながりができたり、紹介されたりしながら活動の基盤ができたのだそうです。

■子どもたちの反応

現在、仙台市や名取市の図書館、小学校、文学館などで「おはなし会」を開催しています。特に小学校では、昨年は10の小学校を訪問し、学校によっては毎年継続的に各学年ごとの授業のカリキュラムに組み込まれています。毎年行うので、学年が変わった時に同じおはなしをしないように活動の記録もつけています。昨年、向山小学校で1年間に話したおはなしは、なんと90話にのぼりました。

おはなしは5分から長いもので35分位のもの。真剣な目でおはなしを聞いた子どもたちからは、「心がにぎやかになった」「作者や話す人の思いがわかった」などうれしい感想がもらえるそうです。

「世界の昔話や創作の話の中で選びぬかれ磨かれた言葉を耳から繰り返し聞くことは子どものことばを育てます。また時空を超えていろいろな想像をしながら物語を楽しみ、間接的に体験することで心の枠を広げたり、いろいろな人を知ることができます。おはなし会で話す結末は幸せになる内容がほとんどです。子どもたちがおはなしを楽しみながら、人生に希望を持ってもらいたいです。」と山田さんは話します。

■文庫も活動の原動力

「おはなしてんとうむし」の活動以外に山田さんはご自宅で「文庫」もやっています。

自宅には約3000冊の本があり、学校帰りの子どもたちや親子が本を楽しんでいるそうです。山田さんが子育てをしている時期から地域の子どもや親子の居場所として、子育て中のお母さんを孤立させないことや、親子で遊ぶ楽しさを大切にしながら仲間づくりの場としてきました。

団体紹介

「おはなしてんとうむし」

1993年、生で語るおはなしをたくさん子どもたちと楽しみたいと発足しました。学校や図書館などに出向いて「おはなし会」を開き、世界の昔話を主としたさまざまなおはなしを声だけで伝えるストーリーテリングを行っています。

10月25、26日にはストーリーテリング実技連続講座を開催します。

<団体連絡先>

〒980-0874

仙台市青葉区角五郎2-8-25

電話：022-223-7352

代表：山田 仁子



子どもを巻き込んだ悲惨な事件が多い社会状況も、地域の中の居場所や互いに顔の見える関係があれば軽減されます。忙しすぎる生活状況の中でも本を読む楽しさを忘れないでほしいと思っています。文庫では、子どもたちがくるのを待つことが多くなっているため、外に出向き本の楽しさを伝えたいという思いが、団体の活動を始める原動力になっています。

■多様なおはなしをするために

団体では小学校でのおはなし会のほかに仙台市宮城野図書館、仙台市榴ヶ岡図書館、名取市図書館で「おはなし会」、市民図書館で「おはなしパーク」、仙台市文学館では「絵本の広場」に参加しています。

「おはなし会」では、おはなしの他に手遊びやパネルシアターを入れながら、子どもたちの目を見ながら語りかけます。子どもたちはすーっとおはなしの世界に入り込み、素直な気持ちで聞いています。このほか、子どもだけではなく「大人のためのおはなし会」も開催しています。子ども向けとは違い、スリルやサスペンスのあるおはなしやラブロマンスなどもあるそうです。目の前に情景が思い描かれるような豊かな声の表現で語るおはなしがたくさんあるとのこと。ぜひ聞いてみたいですね。

このようなおはなしを語り届けるために、団体では勉強会を行い、お互いに練習しアドバイス合っています。持っているレパートリーは多い人で70話ほどもあり、おはなしの長さも様々です。

そしておはなしを語る意義の確認や意識の向上を目的として、毎年おはなしの実技連続講座を開催しています。ここでは東京から講師を招いて、希望者や団体のメンバーがおはなしを語り、講評をもらいながら勉強をします。この参加者の中に

は図書館員の方もいて、より幅広い勉強会になっています。このような講座でサポートセンターを利用されており、たくさんの参加者が集う場合には特にアクセスがよく、便利だということです。イベントの広報ではイベントチラシの配架に骨プロ(※)を利用し、より多くの人に参加を呼びかける工夫をしています。この秋10月にもおはなしの実技連続講座をサポートセンターと太白区中央市民センターで開催する予定です。

■やっぱり子どもと本が好き

団体を立ち上げて14年。周囲の関連する施設や人につないでもらいながら活動を続けてきました。続けることができたのは、やはり子どもと本が大好きだから。

メンバーは活動に加わっても転勤などで入れ替わることもありますが、様々な人に活動を体験してもらうことで、団体内部も少しずつ活性化されています。またメンバーそれぞれにおはなしの得意分野があり、個性が活かされているとのこと。

「これからも地道だけれど、子どもがおはなしを聞くことから本を読む楽しみへとつなげていけるように、たとえたった一人の子どもの参加であってもその子のために私たちは語ります。そして語ったおはなしは今すぐじゃなくても成長していく間に子どもたちの心に甦り、振り返って思い出すことがあると思います。そんな経験を子どもたちができるように語り伝えたいですね。」という山田さんの言葉が印象的でした。

(担当：伊藤 浩子)

※骨プロ：「仙台に情報の背骨を通すプロジェクト」NPOやボランティアグループのみなさんの情報発信をサポートするために、サポートセンターの窓口でお預かりしたイベントや講座などのチラシを市内の9つの公共施設に配架するサービスです。

◆サポセンのサービスいろいろ。
どんなふうに使えるのか紹介します！

サポセン日記

今月のテーマ
～ 団体情報ファイル ～

団体の情報収集ならおまかせ！

6100団体のストック「団体情報ファイル」

●団体情報ファイルって何？

仙台に限らず、全国、果ては海外まで市民活動団体の情報を幅広くストックしているファイルです。1階情報サロンに設置されていて、市民のみなさんが自由に閲覧できます。サポセンでは、市民活動団体のみなさんからいただいたチラシやパンフレット、団体紹介シート（※）、活動報告書、新聞記事などを開館以来8年間にわたって収集してきました。今やその数は約6,100団体にのびます。「環境」「子ども・社会教育」など、10分野に分類され、かつ県内と県外の団体に分けられています。気になる団体の情報を知りたいときは、団体情報ファイルをチェックしてください。団体の情報を探しているけど「見つからない」「たくさんあって迷う」そんなときには、スタッフがお手伝いします。

●団体の情報発信・収集に使えます

「仙台で●●している団体の情報を知りたい」というように、団体の情報を収集するのはもちろんですが、反対にこのファイルを使って団体側から情報を発信することもできます。社会へのNPOに対する認知は高まりつつありますが、それでもその実態はまだまだ知られていないのが現状です。情報を発信しなければ、何をしているのかわからないと周囲から思われることもあるかもしれません。団体の活動内容やその成果を発信して団体の信頼性を高めましょう！

また情報収集という点でも、サポセンに来たさまざまな情報を団体情報ファイルにストックしていますので、例えばあなたが所属している団体の昔の資料があるかもしれません。「自分の団体が新聞に載ったけれど、記事を切り抜き忘れた！」というときでも大丈夫。河北新報、日本経済新聞の2紙での記事ならファイルの中にあるかもしれませんよ。探してみてください。

●団体情報ファイルに情報を入れてほしい！

自分の団体の情報を団体情報ファイルにストックしたいというときは、1階窓口までお持ちください。スタッフがファイルにストックします。団体のパンフレットやチラシに限らず、例えば事業報告書や会則などといった団体の詳しい内容がわかる書類もストックできます。みなさんからの情報をお待ちしています。

(担当：本田 ふみ)

※団体紹介シートとは？

市民活動団体がどのような活動をしているのか市民のみなさんに広く紹介するシート（A4両面）です。団体にご記入をいただいてその情報をこのページで紹介している団体情報ファイルのほか、団体紹介シートだけをまとめたファイルへストックしています。内容は、①団体に関する基礎情報（団体名、代表者、住所等連絡先、主な活動場所など）②活動目的や活動内容、③市民のみなさんにアピールしたいことなどをご記入いただいています。1階の情報サロンで閲覧可能です。

団体の情報発信をさらにお手伝いするために 団体紹介シートを改訂しました。

市民活動団体が継続して活動するためには、ボランティアや会員などといった団体の活動に興味を持ち、支援してくれる人を募ることは必須ではないでしょうか。しかし、それらの支援者は待っていても集まりません。団体がどのような活動をしているのか、どのような実績があるかなどの情報を常に、またタイムリーに発信することが重要です。

サポセンでは団体の情報発信をお手伝いできるよう、この7月に団体紹介シートを改訂しました。具体的には、①より団体の概要がわかるよう予算規模を記入する欄を設けたほか、もし団体内で作成していれば②会則③事業計画書や報告書、④会計書類などを添付していただくようお願いをしています。

まだ改訂した団体紹介シートに記入をしていないというみなさん、ぜひ、このシートを使って団体の情報を発信してみませんか？そして、団体の活動を一緒に育てていきましょう！

ミニサポダス

◆サポセンの利用状況を毎月テーマを変えてお知らせしています！

■情報収集を徹底サポート！ ～団体情報ファイル～

サポートセンターが開館してから8年、私たちが収集してきた団体情報は6,100団体を超えました。チラシやニューズレター、団体にまつわる新聞記事など、多様なルートでサポセンに集まった情報を、個々の団体ごとにファイルしているのがこの「団体情報ファイル」です。このファイルの特徴として、各分野の団体情報が比較

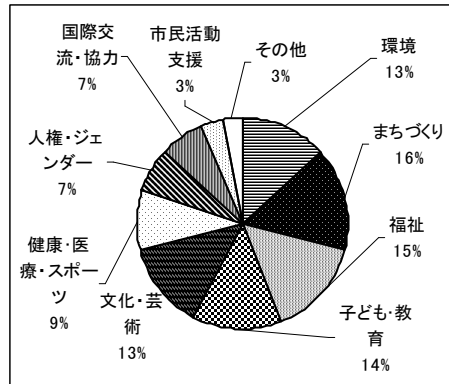
的均等に集められていることがあげられます。たとえば宮城県のNPO法人の分野別構成比は、1位が「福祉」で約4割となっていますが、（宮城県環境生活部NPO活動促進室HP参照）サポセンにある団体情報の各分野の割合は10～15%と同程度になっています。

このファイルはサポセン独自の情報収集の成果であると同時に、団体がサポセンへチラシなどの情報を配架し、実際に情報発信に活用している団体の分野別のデータでもあります。サポセンは特定の分野に偏ることなく、様々な団体にご利用いただいているようです。
(担当:千葉やす恵)

●団体情報ストック数 分野別集計 2007年07月28日現在

	分野	団体数	うち 県内	うち 県外	構成比
1	環境	968	412	556	16%
2	まちづくり	895	519	376	15%
3	福祉	791	469	322	13%
4	子ども・教育	745	435	310	12%
5	文化・芸術	660	414	246	11%
6	健康・医療・スポーツ	545	294	251	9%
7	人権・ジェンダー	491	221	270	8%
8	国際交流・協力	454	212	242	7%
9	市民活動支援*	307	105	202	5%
10	その他	257	98	159	4%
	計	6,113	3,179	2,934	100%

●団体情報ストック数(県内) 分野別構成



*市民活動支援の県内は東北とよみかえる



フィッシュ！鮮度100%
ぴちぴちオフィスのつくり方

著者：ステイブン・C・ランディン、ハリー・ポール、ジョン・クリステンセン

相原真理子=訳

発行：早川書房

定価：1,200円（税抜）

この物語は、やる気を失った組織に配属された女性が、活気のある魚市場から組織再生の秘訣を発見し、職場を活気づける話です。キーワードは4つ「態度を選ぶこと」「遊ぶこと」「人を喜ばせること」「注意を向けること」です。

遊ぶことでは真剣に仕事をしながらも、やり方次第で仕事を楽しくすることがあります。魚市場では、店員がお客さんと一緒に遊んで魚を投げあい活気を生んでいました。遊ぶことで商品が良く売れるなど様々な良い効果があるようです。

私も一人での仕事に遊びを取り入れることはありますが、他の職員を巻き込むことはありませんでした。ふざけていると思われのが心配だったからです。しかし遊びで他の職員もさらに仕事が楽しくなるならば、職場全体へ貢献することになるのではないかと思えました。元氣な組織をつくる秘訣を知りたい方へお薦めです。

担当 渋谷 丹

サポ本を読もう！

◆サポセンの図書コーナーの本を紹介します。

サポセン広場

◆利用者の皆様から寄せられた声にお応えします。

月に一度の会議で使用しました。街中にあり、利用の便がいいと思いました。

機材の使い方がわからなかったらスタッフを呼んでくださいね。お部屋まで伺います。

地下鉄広瀬通駅西5番出口から、数歩で着きます。公共交通機関が便利です。

プロジェクターなど設置してくださって、ありがとうございました。とても使いやすく居心地が良かったです。

アラカルト

◆市民活動の旬の話題やサポセンで開催された講座の報告など、毎月いろいろなテーマでお送りします。

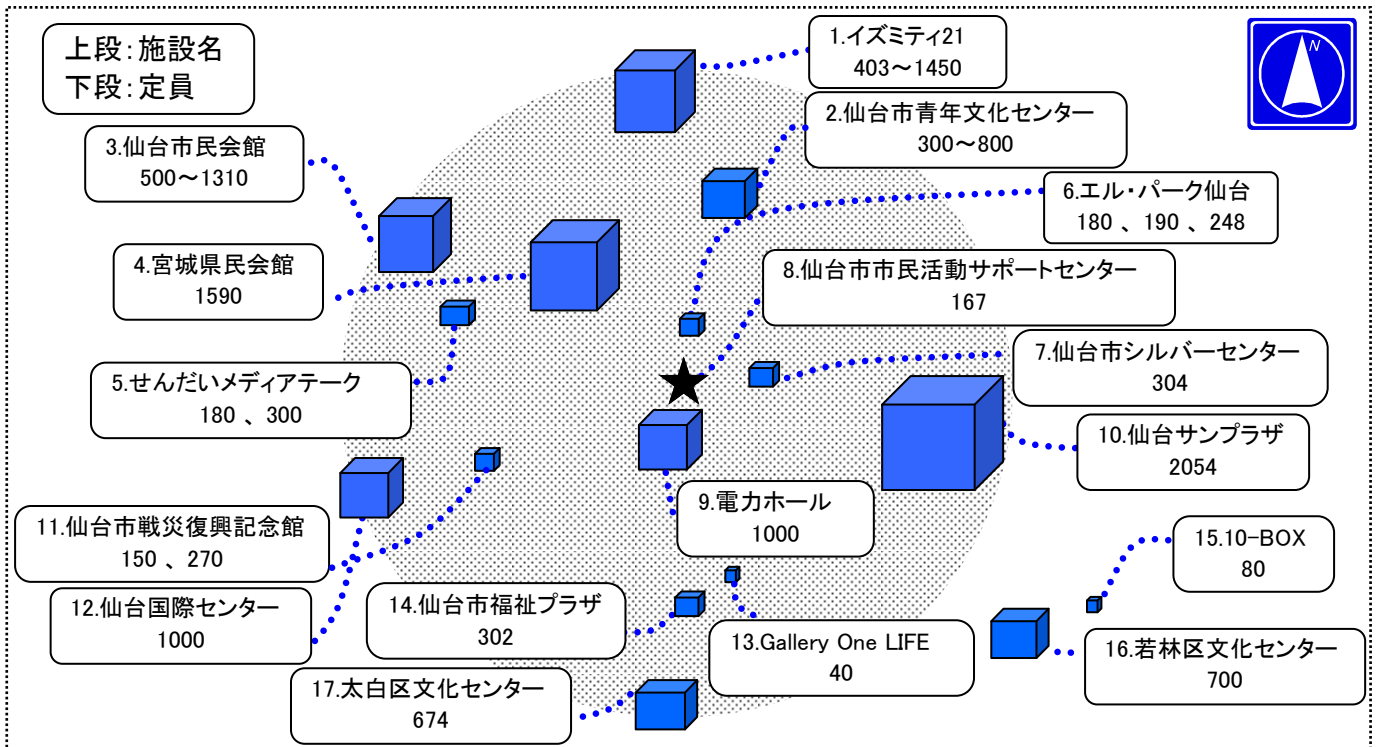
演劇などに使える

仙台市内のホールを一挙公開！

秋は、まちのあちこちでたくさんのイベントが行われる季節です。サポートセンターでは、クリッピングサービス（※）として、「仙台市内ホールマップ」を作成しました。マップには、仙台市内の公共施設を中心に、演劇やコンサートの公演が可能な施設が載っています。

■の大きさは、ホールの定員の規模を示しています。会場を選ぶときの参考にしてくださいね。

（※）市民活動に役立つ情報を自由にお持ち帰りできるサービスで、テーマごとに必要な情報を1枚の用紙につめこんだものです。市民活動の便利帳としてお役立て下さい。



No	名称	定員	住所	電話	FAX
1	イズミティ21	403~1450 ※	泉区泉中央2-18-1	375-3101	375-4229
2	仙台市青年文化センター	300~800 ※	青葉区旭ヶ丘3-27-5	276-2110	276-2108
3	仙台市民会館	500~1310 ※	青葉区桜ヶ岡公園4-1	262-4721	215-3950
4	宮城県民会館	1590 (大ホール)	青葉区国分町3-3-7	225-8641	223-8728
5	せんだいメディアテーク	180 (スタジオシアター) 300 (オープンスクエア)	青葉区春日町2-1	713-3171	713-4482
6	仙台市男女共同参画推進センター エル・パーク仙台	180 (セミナーホール) 190 (スタジオホール) 248 (ギャラリーホール)	青葉区一番町4-11-1	268-8300	268-8304
7	仙台市シルバーセンター	304 (交流ホール)	青葉区花京院1-3-2	215-3191	215-4140
8	仙台市市民活動サポートセンター	167 (市民活動シアター)	青葉区一番町4-1-3	212-3010	268-4042
9	電力ホール	1000	青葉区一番町3-7-1	225-2251	267-4860
10	仙台サンプラザ	2054	宮城野区榴岡5-11-1	257-3300	257-3331
11	仙台市戦災復興記念館	270 (記念ホール) 150 (展示ホール)	青葉区大町2-12-1	263-6931	262-5465
12	仙台国際センター	1000 (大ホール)	青葉区青葉山無番地	265-2450	265-2485
13	Gallery One LIFE	40	若林区清水小路1-8	714-3955	714-3955
14	仙台市福祉プラザ	302 (ふれあいホール)	青葉区五橋2-12-2	213-6237	213-6467
15	せんだい演劇工房10-BOX	80 (BOX-1)	若林区卸町2-12-9	782-7510	235-8610
16	若林区文化センター	700 (多目的ホール)	若林区南小泉1-1-1	282-1171	282-1180
17	太白区文化センター	674 (楽楽楽ホール)	太白区長町5-3-2	304-2211	304-2746

※ホールと定員の詳細は、各施設へお問い合わせください。

イベント 紹介 9月



- サポートセンターで行われる、参加者募集中のイベントを紹介します。
- 原則として各団体に提出していただいた文章をそのまま掲載しています。
- 毎月5日締め切りで、翌月サポートセンターを会場に開催するイベント情報を募集しています。ご希望の方はお問い合わせください。

開催日	時間	イベントタイトル	貸室	参加費	主催	問い合わせ先
9/1	14:00 ～ 17:00	子どもの非行や荒れに親としてどう向き合えばいいのか？一人で悩まず一緒に分かち合いませんか？	研修室 2	500円 (事前申込不要)	みやぎ「非行」と向き合う親たちの会	Tel1090-5235-4247 (野口りこ)
9/2	14:30 ～ 16:30	クリシュナ・リラ (ネパールミュージック コンサート)	市民活動 シアター	前売3,000円 当日3,500円	P. S. music&す あら・ぼぐー す	Tel 022-267-2282 (すあら・ぼぐー す)
9/6 ～ 全6回	18:30 ～ 21:00	リラックスやリフレッシュに役立つフットケアを身につけよう!!	研修室 3	受講料20,000円 認定・申請テキスト代10,000円 教材費7,000円 (事前申込必要)	JRFA足市場	Tel 022-223-9023 090-7564-9831 Fax 022-223-9023 (森)
9/16 ～ 10/15	開館時 間内	アフガニスタンを支援するNGOの活動紹介と中村哲医師講演会の案内	展示 スペース (5F)	なし (事前申込不要)	ペシャワール 会を宮城から 応援する会	Tel&Fax 022-256-9055 (佐藤とも子)
9/19	19:00 ～ 20:30	デザイン力UP講座 /プロが教えるプロのやり方・発想	研修室 2	1,000円 (事前申込必要)	メディアデザ イン	Tel1090-3049-0613 Fax 022-224-5308 (千葉)
9/23	14:00 ～ 16:30	学習交流会『ヘルパーのつどい』 講演「これまでのヘルパーこれからのヘルパー」共に学ぶ交流の場	セミナー ホール	500円 (事前申込不要)	みやぎヘル パー・介護 労働者連絡会	Tel 022-236-9651 Fax 022-283-0035 (上條栄治)
10/21	9:50 ～ 17:00	HIVと共に学び共に生きる講座 第3回(第1回9/9、第2回9/23別会場にて開催)	研修室 5	全3回5,000円 (事前申込必要)	東北HIVコミュ ニケーション ズ(THC)	Tel&FAX 022-298-8532 (やまだまさこ)

仙台市シニア活動支援センターからのお知らせ

■専門相談<無料・申込が必要>

9 月	8日 (土)	地元学に参加しませんか? 青空編集室 西大立目 祥子さん 地元学の会 元会長 東海林 一さん
	27日 (木)	環境系NPOを紹介します ACT53仙台 代表 矢吹真理子さん (特活) 広瀬川の清流を守る会 代表 日下 均さん

サポセンの3階にある
シニア活動支援センターからの情報をお届けします!

■シニアサロン<参加費有・申込が必要>

9/25 (火)	ガイドボランティアの達人に話を聞こう ゲスト: 齋藤光巧さん 仙台・国見おたから研究会 代表 高橋英夫さん グループGOZAIN 代表
----------	---

□詳細の問い合わせ・申込みは下記までどうぞ!

仙台市シニア活動支援センター
TEL:217-3983 FAX:217-3984

